

奈良研修旅行に参加して

高橋 信喜

七月二十日午前零時十分、二十四名を乗せた観光バスが旧お魚センターから奈良に向けて出発しました。

八時四十五分頃奈良公園に着、一番のりらしい。まず、東大寺の大仏、春日大社と古代建造物に接する。昼食後は今回のメインイベントである平城宮跡へ向かう。



会場は

団体の観

光客が多

く、ボラ

ンティア

の方が案

内や説明

に活躍さ

れていま

した。約

一キロ四

方に点在

している朱雀門、資料館、大極殿

等を見て回る。大極殿には天皇の

玉座である「高御座」が置かれ、

即位の儀式や元旦の朝賀に使われ

たそうです。

約千三百年前にこの地に遷都した

聖武天皇、そしてこの地で暮らし

た役人や市民の生活振りはどうで

あったのか知る由もないが、タイ

ムスリップしてみた

い気持ちになりました。

振り返れば深夜バ

スに揺られ、三十五

度を越す猛暑の中、

神社、仏閣、仏像等

を見て随分歩きまし



た。先輩諸氏は元氣そのもの、負けてはならぬとひたすらついていくのみ。明日も無事故を願いながらお布団に入るやパターンキューとなりました。

二十一日八時三十分、法隆寺へ出発。飛鳥時代に建立された世界最古の木造建築との説明を受け、奈良国立博物館で「仏像修理百年」の特別展を見学する。仏像修理に携わった人達の苦悩と技術の継承など百年の歴史を振り返るもので、人間の能力の奥深さに感動した。

昼食は三輪ソーメン山本へ。今まで食べたことのない素晴らしいソーメン。腹ごしらえと土産を買って歴史探索奈良を後にし

てバスはいわきへと帰路に着く。二十三時過ぎ出発地に無事到着。今回の旅で会員の皆様方、プラ



奈良の大仏さん



お昼は、ご存じ三輪そーめん

ザ職員の皆様方とのコミュニケーションを図られましたことはこの上なき喜びと感謝申し上げます。往復約千六百キロの旅は楽しかった。



平城宮朱雀門